令和5度「文化芸術による子供育成推進事業　出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	舞踊	種目	現代舞踊

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ

複数申請の状況（該当するものを選択してください。）　※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）
※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん　こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい　かるてぃべいと 特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　カルティベイト	団体ウェブサイトURL https://www.npo-cultivate.org/	
代表者職・氏名	代表理事　堅田　政明		
制作団体所在地	〒 227-0062	最寄り駅（バス停）	東急電鉄田園都市線青葉台駅
	神奈川県横浜市青葉区青葉台2－6－15　ベルグレイス青葉台607		
電話番号	045-516-6515		
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん　こくさいぶんかこうりゅうそくしんきょうかい　かるてぃべいと 特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　カルティベイト	団体ウェブサイトURL https://www.npo-cultivate.org/	
代表者職・氏名	代表理事　堅田　政明		
公演団体所在地	〒 227-0062	最寄り駅（バス停）	東急電鉄田園都市線青葉台駅
	神奈川県横浜市青葉区青葉台2－6－15　ベルグレイス青葉台607		
制作団体　設立年月	045-516-6515		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事／堅田　政明 理　　事／谷口　修 理　　事／岩上精男 監　　事／長谷川　茂	代表理事(1名)⇒理事(2名)⇒事務局(3名) 理　事　会　⇒　運営委員会 企画部門　－　プロジェクトチームを編成 (制作、演出、ｽﾀｯﾌ、ｷｬｽﾄ、ﾀﾞﾝｻｰ他) ※巡回公演出演ダンサーの一部は採択次年度以降、順次公演実施ブロック・地域対象のオーディションを行い決定しています。	
事務体制 (専任担当者の有無)	他の事業と兼任の事務担当者を置く	本事業担当者名	堅田政明
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	堅田浩巳

制作団体沿革	■平成23年10月法人認証(神奈川県横浜市) ・平成24年1月横浜・地区センター自主事業/ヒップホップダンス教室事業支援 ■平成25年12月平成26年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集 ・講師派遣事業13校採択(神奈川県立横浜南養護学校他 ■平成27年5～6月平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」採択 ・学校巡回公演実施:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 【福島県他小中学校(含養護学校)計18校実施済】 以後、、平成27年度から令和4年度にわたり文化庁巡回公演事業:現代舞踊「ヒップホップダンス(ストリートダンス)」分野で唯一制作・公演する団体として又、同じく文化庁事業の芸術家派遣事業やコミュニケーション能力向上事業、更に直近ではユニバーサル公演事業や文化施設等活用事業等々に於いて活動領域を広げ地域的、学校種別的にも幅広く活動し、多数の学校現場(令和4年度は120校程:多年度採択・継続実施中)でも高い評価と信頼を得ている。
学校等における公演実績	■学校公演実績(文化庁事業) 1) 平成27年 5～6月 平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 福島県他小中学校(含養護学校) 計21校実施 2) 平成28年 5～6月 平成28年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 宮城県・青森県・北海道他小中学校 計17校実施 3) 平成29年 5～7月 平成29年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 京都府/市・福井県・石川県・富山県・新潟県/市 計14校実施 4) 平成30年 5～7月 平成30年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県・横浜市・相模原市・名古屋市 計21校実施 5) 令和元年5月～7月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 岡山県・広島県・山口県・岡山市・広島市 計14校実施 6) 令和2年10月～令和3年3月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 東京・千葉・茨城・山梨・千葉市 計26校実施 7) 令和3年10月～11月学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 三重県 滋賀県 大阪府 奈良県 和歌山県 / 大阪市・ 堺市 計26校実施) 8) 令和4年6月～10月 学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」 兵庫・四国4県並びに神戸市 公演実施中
特別支援学校等における公演実績	■文化庁講師(芸術家)派遣事業並びにユニバーサル公演事業対象校、 横浜市立市ヶ尾中学校、同市立中川西中学校、神奈川県立横浜南養護学校等に於いて個別支援学級(特別支援学級)及病院内学校にプロダンサーによる『ダンス鑑賞とワークショップ授業』を行い、非常に好評を得ています。 平成27～31年度も継続実施し、特に重複障がい児童生徒の特別支援学校でのワークショップ授業の実施をしています。平成27年度学校巡回公演では福島県立大笹生養護学校並び石川養護学校で公演を行いました。 更に同30年度、31年度に於いては、神奈川県立麻生養護学校や広島県立三原特別支援学校等々毎年度複数校で本巡回公演が支援教育校に於いても実施され、児童生徒はもとより教員方からも高評価を得ています。 又、コミュニケーション能力向上事業は29年度から前述の特別支援学校でも継続実施され、昨年度からは大阪府立八尾支援学校も加わり、その東西での取り組み成果が公演事業に多面的にフィードバックされ好循環となっています。 更に令和2年度に於いて新潟県立東新潟特別支援学校、広島県立三原特別支援学校(中学部)でも採択となり同年度計4校の事業実施が予定されました。令和3年～4年度では新潟県立特別支援学校3校、大阪府下で2校と神奈川県では学校法人1校の計6校となり東西の各校の支援学校等で実施に向け鑑賞・体験授業等準備が進んでいます。

参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	http://npo-cultivate.org/	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	－
		PW:	－

公演・ワークショップの内容　　【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベイト】

対象	小学生(低学年)	○
	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○
	中学生	○

企画名	-日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス！』
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	学校巡廻公演(2023) -日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス！』 企画／制作：堅田　浩巳 堅田　政明 構成／演出：今城　裕治 振　　付：江頭　耕治 監　　修：姉小路公孝 公演時間(　90　分)

著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

演目概要	この数年でストリートダンスは一部愛好家や若者文化の象徴から脱皮し、現在世界中で多くの人々に支持され拡大しています。現在テレビ、音楽やファッション、広告等様々な文化・芸術に影響を与え、又2024年開催のパリオリンピックではピップホップダンスの中でブレイクダンスが正式競技種目として決定となり、特に世界的にもレベルの高い日本人若手ブレイクダンサー(男女共に)の注目度が高くなっています。更に健康維持・増進に役立つダンス・運動として社会的に幅広い分野や高年齢層に至るまでに大きく広がり、支持を受け成長を拡大し続けています。 ●過去10年以上の間に多数の小中学校での学校コンサート(公演)実績も有し、多くの小中学生が鑑賞しています。 ●このステージを学校現場で本格的に導入、実施され浸透してきたダンスを次世代を担う児童・生徒達向けに、よりブラッシュアップ。更に様々な文化芸術的要素も大胆に取り入れ表現、世界に誇れる日本人トップダンサーを起用し、文化交流史としても長い時間を重ねてきたお隣の国、韓国のトップダンサー達も参画します。 ●本公演に参加する韓国のダンサーは特に来日経験も豊富で日韓合同のステージも多数経験している実績豊富なダンサーを起用しています。このチームが優れた高い文化・芸術性を表現し、他では決して得ることが出来ない驚きと楽しさあふれる交流体験・感動を与え、もっと楽しく、ダンスを、身体を動かしたくなる様なとても盛り上がるステージです。 ●次に本公演の構成内容をご覧ください。
演目選択理由	【ヒップホップダンスを選択した背景／理由】 ●児童・生徒達やその他様々な分野や領域へストリートダンスの認知の急速な広がりと深まり、そして定着が全国的に顕著になりました。 ●ストリートダンスの国際性と文化・芸術性への理解と高まりがあります。 アフリカや南米の民族文化をベースとした米国生まれ・発祥で、多文化・芸術を入れ発展した多様性を象徴した代表的な文化のひとつが、韓国や中国等アジアやヨーロッパ・東欧各国の若者達を中心に強い支持を得て、人種や性差を越え幅広い層に受容され浸透しています。 ●ダンス『現代的なリズムのダンス』が学校教育、体育教育へ、平成23年～25年度から導入されて来ました。特に平成24年度、中学校での「ダンス必修化」に伴い、社会的に大きく取り上げられ、幅広く若年層から中高年齢層にまでダンスが認知、自らも取り組む姿が多く見られます。 ●ダンスの児童・生徒達への広がり：各種キッズダンス大会が全国各地で多数開催され、更に現在も増え続けています。 ●日本人ダンサーの世界的活躍：高度な技能・芸術性でトップ、世界をリードします。 (各種ストリートダンスの国際大会に於いて連続世界一、優勝を獲得) ●そして、特に日本人若手ダンサーが世界トップレベルで大活躍しているブレイクダンスがリオ・オリンッピク(2018年ブエノスアイレスユースオリンピック)競技種目に加わり、金メダル等トップの成績を獲得する等更に注目され、小中学生や高校生の間で関心が一層広がっています。又、2024年開催のパリオリンピックでもブレイクダンスが競技種目として決定されています。 ●日本同様、世界大会で上位を競う韓国のトップダンサーも本公演に参画し、そのダンスを披露するだけではなく、生徒達とも交流・触合いを通じ互いの文化を知る、相互に理解しあい友情をはぐくみ交流を重ねることの大切さを学びます。 ●又、令和3年度文化庁事業である『子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業』に於いても、ブレイクダンスを中心としたヒップホップダンスの鑑賞・体験型の授業を中学校(川崎市)を中心に複数の地域で実施しました。⇒【別添シート①】

児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	●事前ワークショップでの初めてダンス体験から本番のダンス参加まで、生徒達へのダンスの指導とプロのトップダンサーとのコミュニケーション・相互交流が多数行われます。 ●世界レベルのダンス公演の鑑賞 ●本公演でのダンス参加 ●事前ワークショップでのチーム別結果発表や合同でのダンス参加 ●教職員の方々も児童生徒と共にワークショップや公演時にダンスに参加頂くことが可能です。多くの学校公演で校長先生や先生方が積極的に舞台上でパフォーマンスを披露され、終了後これまで以上に児童生徒とのコミュニケーションが活発となった等の感想を多数頂いています。 ●日韓ダンサーとの質疑応答や相互交流・文化交流 ●ご希望によりステージアート（舞台芸術・技術）体験ステージ設営体験（舞台作り、照明、音響等）公演やワークショップで使用する音楽（曲目）を校内放送で流し、生徒達に親しんで頂き、より効果性を高めます。
出演者	※別紙『出演者リスト』をご覧ください。

本公演 従事予定者数 （1公演あたり） ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者: 10 名 スタッフ: 14 名 合　計: 24 名	運搬	積載量: 4 t 車　長: 8.64 m 台　数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 （タイムスケジュール） の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		3		時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去		退出
	午前8時	午前8時～午後0時	午後1時30分～	午後3時	0分 （水分補給有）	午後3時30分～午後4時30分	午後5時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。（大幅な変更は認められません）	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	10日	10日	20日	20日	
	11月	12月	1月	計	130日	
	20日	15日	15日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の参加可能人数	本公演	共演人数目安	20
		鑑賞人数目安	800

公演に係るビジュアルイメージ
（舞台の規模や演出やがわかる写真）

※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。

学校コンサート（2023）構成

-日韓トップダンサーの競演-

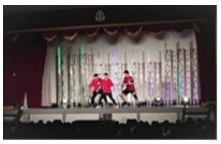
『これがヒップホップダンス！』

MC （前説明）2分
《オープニング》（3分）
M1 テーマ曲　　出演者全員登場 （2分30秒）

第1章　ヒップホップダンス？（15分）

MC （ヒップホップダンスとは？を、紹介）
①ロックダンスとは
（ダンサーが出てきて紹介後、踊りのパターンを紹介）
②ポップダンスとは
同　上

③ブレイクダンスとは
同　上



各スタイルの特徴を生かしたダンスを披露。ヒップホップの最高テクニックを披露することで、より近くにダンスを感じられる様に工夫
また、照明音響等効果を駆使して、ダンスシーン最先端の表現を見て、感じてもらう。

第２章ヒューマンビートボックス
ＨＢ・ボイスパーカッションの一種）（１０分）

MC （ヒップホップの種類でヒューマンビートボックスを紹介・説明）
M5　ヒューマンビートボックス
ダンス以外のヒップホップ文化の一つである、ヒューマンビートボックス。ここで韓国からのビートボクサーとして登場し妙技を披露し、日本チームダンサーと競演する。ダンス以外の文化にも触れながら、ヒップホップの魅力を違う角度から感じてゆく。この交流をきっと児童生徒たちは、目を丸くして、驚きの中で、時間を過ごすことだろう。

第３章【THE　BATTLE】（２０分）

MC （バトルの歴史と面白さ）
M2　戦い入場の音楽
M3　戦い
チーム赤　VS　チーム青
（観客に勝負を決めてもらい、表彰式）
M4 表彰～退場曲
ダンサーを2チームに分け、ダンスを競い合う楽しみを体感。又、学校の状況によりもし可能であれば先生方だけのチームを編成、出場頂きパフォーマンスを披露頂く。
そして児童生徒たちに勝敗を判定してもらう。
M5退場曲
バトルの歴史を紹介しながら、武器による戦いではなく、文化による戦いを強調。そして、最後は、握手によって、ノーサイドになることを見せてゆく。

第4章みんなで踊ろう！！（２０分）

MC （みんなで踊ることを提案）
M6　みんなで踊ろう
賑やかに、全員で、ヒップホップを習い、踊る！
ダンサーたちの自己紹介を含めて、全員で、ダンスの練習。皆のレベルに合わせて、最後は全校合同で、賑やかに、ヒップホップを踊る！

第5章　質問コーナー（１０分～）

MC（子供たちとダンサーとの質疑応答、或いはサプライズコーナーあり）
賑やかなひと時を終えて、興奮冷めやらぬ雰囲気の中で、質問会を行う。
児童生徒とダンサーとがさらに近づき、別れがたい印象が強まってゆく。

終章　エンディング（5分）

M7 エンディング（友好B）
出演者全員登場

最後は、もう一度、照明や映像溢れる中で、
一人一人を紹介しながら、ダンサーたちの、
得意なテクニックを披露しながら、大団円
を作り上げてゆく。

総計90分

【出演者】 10 名
・ダンサー　　日本 ・・・ロックダンサー　3名　ポップダンサー　2名
韓国 ・・・ ブレイクダンサー3名
・ヒューマンビートボックス・・・　　1名
・司　会　　女性 ・・・　　1名
合計10名

※この演目では、次世代を担う多くの児童生徒達に世界に誇る日本の本物の芸術・文化と共に韓国のトップダンサーと文化芸術を身近に、目の前で触れ大きな感動や驚きを感じてもらいます。そしてダンスを通じ、互いを理解すること、体を動かす楽しさや充実感を大いに実感してもらうことを狙いとしています。

A区分・B区分・C区分共通

No.3(実演芸術)

【公演団体名 特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会　カルティベイト 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	数名～800名以上も可
ワークショップ 実施形態及び内容	【実施形態及び内容】 ・ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行います。 ・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作の基本を習う ・ストリートダンス応用編：振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする 所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。		
ワークショップの ねらい	【ねらい・意図】 ・ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行ます。 ・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作基本を習う ・ストリートダンス応用編：振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けて練習をする所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。 又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	事前に担当の教員の方々と児童・生徒達に対する留意点の有無を含め、打合せ・調整を充分に行い準備・実施します。現在、個別にダンサーがボランティア等でダンスを教えに伺っています。又、平成27～令和3年度の学校巡回公演に於いても複数の公･私立養護学校でワークショップと上演を行っていますので、支援学校や個別教室での指導も実施可能です。更に、これらの学校できめ細かな準備と実施が求められる芸術家派遣事業（文化庁）も、小中学校個別支援（特別支援）学級等で授業を多数校で行い大変好評を得ており、参観の保護者の方々からも非常に高評価を頂き、29年度から、更に高度なスキルを求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)も採択され令和3年度では全国6校で準備・実施が行われました。 これら各校の先生方も支援を必要とする生徒達も、音楽や体を動かす事が大好きで、プロダンサーとの交流をとても楽しみにしています。私達もこの学校公演で、生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れて頂き、ヒップホップ・ストリートダンスの楽しさを体感して頂きたいと強く思っています。		

A区分・B区分・C区分共通

別添

リンク先	No.1	【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベイト 】

演目選択理由

■ この様に本学校公演では、ヒップホップダンスを通じて、

1） 世界レベルの優れた文化・芸術への関心度の深化

2） 健康な身体や体力作り、体力向上への取り組みと重要性の理解

3） ダンスレッスンを通じたチームや相互のコミュニケーション能力向上

4） 国際文化交流として隣の韓国のダンサーとの交流を通じ、相互のコミュニケーションの重要性や文化の多様性を体感しながら、国籍や民族が異なっていても同じ地球に住む人間どうしであることを実感してもらいたいと思います。

5)ワールドカップやオリンピック等のスポーツでも注目、強調される日本の『チーム力』、特に複数名で組むダンスによるチームワークの大切さ、必要性を学ぶ等の体験機会や実感を与えます。そして日本の誇れる優れた文化・芸術分野の内容を正しく生徒達に提供し、認知と理解を深めて頂く絶好の機会とします。

■ 次にこれまで学校巡回公演実施をさせて頂いた<u>先生方の声を紹介</u>させて頂きます。

一緒に踊る場面があったり,反応を求められる場面があったりと,参加型の公演であった。その為、発達段階の違う1年生から6年生までが90分間を集中して楽しい時間を過ごすことができた。

・ワークショップを含む本公演を通じて、直接体験や直接鑑賞することの大切さや、DVD等では得られない現代舞踊への興味一関心を高めること、身体表現をすることの楽しさなどを仲間とともに感じることができたようである。また、生徒の踊っている姿から、授業では見せない表情やダンスなどの身体表現能力など、生徒理解を行う良い機会となった。さらに、今後、ステップや振り付けをはじめ教科である保健体育のダンスの学習等に活用が期待される。

・子どもたちに質の高い芸術を体験・鑑賞する禄会を与えることができ、たいへんありがたく思います。ワークショップから本公演という構成がなされていたので、子どもたちも抵抗なくヒップホップダンスに親しみ、リズムに合わせて自ら体を勁かす楽しさを実感することができました。また、体育科の表現運動の指導にも役立つもので、大変に参考になりました。

・所狭しと舞台を駆け回る大きな動きや、激しい動きで見ている児童の視線を1時間半、途切れなく引きつけていた。また、ステージ上で踊るダンサーの本物の踊りを直に見ることによって、踊りのすばらしさを児童たちに感じさせることができた。

・予想を大きく超えた舞台、照明、音響装置なども本格的であり、学校独自で取り組むダンス教室などとは一線を画したプロのダンスを体験させることができ、実施して本当によかったという感想をもてた。

・全児童が踊ることに参加させていただいたが、全身を使ってのダンス表現、表情豊かに踊る姿など、児童の普段は見られない姿を垣間見ることができたことも収穫だった。

（巡回公演 『これがヒップホップダンス！』フィードバックシートより抜粋）

■令和５年度公演出演者（予定）氏名：本名リスト

人数	芸名	本名
1	ＥＧＡ	江頭　耕治
2	HANA	光嶋　葉菜
3	MIKU MIKU	橋口　未来
4	ＴＯＳＨＩ	中澤　利彦
5	ＫＩＴＥ	政井　海人
6	ＧＥＮ	松本　元樹
7	Shorty_force	ｿﾝ ｽﾝﾖﾝ(SUNG SEUNGYONG)
8	MIGHTY1	ﾁｭﾝ ﾕﾝﾎ(JUNG YUNHO)
9	TAZO	ﾊﾝ ｻﾝﾎ(HAN SANGHO)
10	MC：TOMIKAHO	富　香穂

令和5年度 文化芸術による子供育成推進事業 ―巡回公演事業― 現代舞踊 HIPHOP DANCE

これが HIPHOP! ヒップホップダンス!

―日韓トップダンサー夢の競演―

「文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業 ―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

特定非営利活動法人　国際文化交流促進協会 カルティベイト

ヒップホップダンスって何だろう？

路上で若者たちによって生まれ世界的に広がっているヒップホップダンス。
そのダンススタイルは今もダンサー達により数多く生み出されています。
その中で代表的な３つのダンススタイルをこのステージでご覧ください。

●ロックダンス
ロック（lock）とは鍵を言い、激しい動きから静止、体が固まった様に止まりポーズを取るスタイルです。ダイナミックなとてもメリハリがあるダンスです。

●ポップダンス
ポップ（pop）、体・筋肉を弾くという意味からこう呼ばれ、動きが面白くロボットダンスと呼ばれるスタイルもあります。特に有名なマイケル・ジャクソンのムーンウォークもポップダンスに含まれます。

●ブレイクダンス
ブレイク（break）は片手で逆立ち回転したり、頭や背中だけでグルグルと回り終わりに決めポーズとる等のアクロバティックなダンススタイルです。日本の若い男女のブレイクダンサーがユースオリンピックや世界の大会で優勝する等、大活躍しています。

これが ヒップホップダンス！ HIPHOP! PROGRAM プログラム

オープニング

第1章 ヒップホップダンス

第2章 ヒューマンビートボックス

第3章 THE BATTLE

第4章 みんなで踊ろう!!

第5章 質問コーナー

エンディング

これが ヒップホップダンス！ HIPHOP! DANCE ダンス

これが ヒップホップダンス！ HIPHOP! DANCER ダンサー

EGA

KITE

TOSHI

HANA

MIKU MIKU

GEN

Bruce Lee

The end

TAZO

MC:富 香穂